



デンソー労働組合 80周年記念式典 開会挨拶 外部式典

デンソー労働組合執行委員長の轟川でございます。本日は公私ともにご多用の中、創立 80 周年記念式典にご臨席賜り、誠にありがとうございます。

また、日頃より我々の活動にご理解とご協力をいただいております経営層の皆様、グループ会社の皆様、デンソー関連労働組合協議会をはじめとした労働組合の仲間の皆様、関係諸団体の皆様、そして協力会社の皆様に、心より深く感謝申し上げます。本日は海外の友好労働組合の皆様にもご視聴いただいております。この場をお借りして、併せて厚く御礼申し上げます。



本 80 周年のテーマは「感導」でございます。

これは「感謝」と「導く」という二つの言葉を掛け合わせたものです。

我々は今、諸先輩方が数々の難局を乗り越え、築き上げてくださった歴史の上に立っています。これまでの歩みの中でデンソー労働組合をお支えいただいた全ての皆様に、深く感謝の意を表するとともに、現役である我々も未来を導く存在であり続けたい、そして次の世代へ確実に襷（たすき）をつないでいきたい。

この「感導」には、そうした強い思いと意志が込められています。

デンソー労働組合は、これからも挑戦者であり続けたいと考えております。

これまで経験したことのない難局に直面した際も、勇気を持って挑戦を積み重ね、乗り越えてきたという自負がございます。

これは我々の力だけではなく、皆様と共に歩んできた挑戦の歴史でもあります。

「労使相互信頼・相互責任」の精神を重んじ、自由闊達に議論できる風土を築き、今日までつないでこられた先輩方活動に共感いただいている経営層の皆様、ならびに海外労組の皆様、相互扶助の精神で活動を共に推進して下さる労働組合の仲間の皆様、関係諸団体の皆様、そして我々の諸活動を支えてくださっている協力会社の皆様。

80年の
感謝を胸に、
未来へリード



これほど多くの支えがあるからこそ、地に足をつけて挑戦し、困難を乗り越えてこられたのだと確信しております。

挑戦とは、結果が出る前に諦めてしまえば、すべて失敗に終わってしまいます。しかし、途中でどのような挫折があったとしても、結果が出るまで歩みを止めることなく進み続ける

ことができれば、そこで得た経験は必ず一人ひとりの力となり、組織の成長にもつながります。今後も失敗を恐れず、結果にこだわりチャレンジし続けるという、デンソーに宿る精神を大切にしていきたいと思います。派手さはなくとも着実に、2m、また次の2mを目指して歩みを進めてまいります。



皆様と共にまだ見ぬ新しい価値を生み出し、その喜びを分かち合っていく。

これこそが私たちの願いであり、挑戦者としての決意でございます。

今後とも変わらぬお付き合いを賜りますとともに、我々の挑戦を温かく見守っていただければ幸いです。引き続きのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます、デンソー労働組合代表としての感謝の言葉と、今後に向けた決意とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

デンソー労働組合 執行委員長 靄川隆行